

県会議員 奥村のり子の
読者ニュース

2016年6月5日 第222号
——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
☎ & F A X 073-427-7121
Eメール w:jcpken@naxnet.or.jp



女の子がプラカードで声援
城北後援会が20数人のつどい

7月10日に実施が見込まれる参院選の3/2の(改選)1人区のすべてで野党候補一本化実現に心躍る思いです。安部法制を廃止させようと市民の力が後押しをしています。
先日、市内一円を毎日宣伝カーで回って下さっているSさんから「女の子が家から出て来てプラカードを掲げ応援してくれていた」とお聞きしました。そこで、私の宣伝担当の日に案内していただき心当たりの家を訪ねましたが残念なことにお留守でした。後日、河西後援会の方々と再度訪問してみ

ました。すると、にぎやかな子どもの声が聞こえ、直感的に「このお子さんかな」と思いながらチャイムを鳴らしました。お母さんが応対して下さり6年生の小学生の子のお手製のプラカードだということがわかりました。子どもさんにあわせていただき、宣伝カーのおじさんも大変はげまされ喜ばれていたことを伝えました。
お母さんからお聞きすると「子連れ9条の会のデモにいっしょに参加したことがあり、そのときプラカードなどつくつたので今回宣伝カーが何度か回ってくるんでつくりたいと思ったのではないか」というこ



小学生が持っているプラカードにPeace no warと書かれています



狭い会場に大勢が集まった城北後援会のつどい

消費税10%へ二年半延期の狙いは？
アベ流屁理屈で失政の責任を転嫁

やはり共産党の指摘が正解です。消費税8%・10%への増税案が出された14年1月の衆院代表質問で共産党の志位委員長が、「国民の暮らしに大打撃を与え、日本経済を壊し、財政も共倒れという『悪循環』の引き金を引くことになる」と警告。同年4月に8%になって個人消費は戦後初の2年連続の減、労働者一人当たりの実質賃金は12年から5年連続マイナスで5%減です。事あることに来年の10%増税も「予定通り」と言ってきたアベ首相がここに至り何の反省もなく2年半(19年10月まで)の延期で、今次参議院選挙を有利に闘うための姑息な手段です。
19年10月といえば18年9月のアベ総裁任期満了、同年12月衆院議員任期切れ、19年4月地方議員選挙、7月は参院選挙とあり、増税はそのあとです。これら一連の選挙にも増税の怒りを避ける狙いがミエミエです。

延期の理由はアベノミクスの破たんが明白なのに、アベ氏は伊勢志摩サミットで世界経済が「リーマンショック前の状況に似ている」と唐突に言い出しました。サミット首脳宣言は「世界経済の回復は続いている」と述べ、「リーマンショック」という言葉は一つもないのに閉幕後の記者会見で6回も使う程です。自らの失政の責任を『世界経済』にすり替える厚顔無恥な笑いだ者です。
10%への増税は「先送り」ではなくきっぱり断念すべきで共産党はそのために頑張ります。(編集室)

のり子の週刊日誌—主なもの—

- 6月3日 県議会本会議開会
- 4日 市駅前吉宗像前宣伝、議案調査、地域訪問
- 5日 党演説会(市民会館大ホール)
- 6日 休会、会議
- 7日 休会、質問準備
- 8日 休会、質問準備
- 9日 休会、質問準備、無料生活相談

論戦復帰しました

市田忠義副委員長の活動地域が京都府に決定したことにより、私の活動地域は京都府をのぞく大阪、兵庫、滋賀、奈良、和歌山の5府県になりました。残された時間、全力で駆け巡りますので最後までお力添えよろしくお願ひ致します。

5月23日、通常国会最後のテレビ中継である参議院決算委員会総括質疑がおこなわれ、私が質問に立ちました。

つい2か月前は、病院のベッドの上で国会中継を見ながら、自分への質問席に戻れるだろうか、また首相や大臣と論戦できるだろうかかと考えていました。それだけに質問席についたとき、これから安倍首相を追及できる喜びが切ったお腹のあたりからこみ上げ

党参議院議員
大門みさし



タックスヘイブンで質問 報道ステーションが放映

右下立っているのが大門です。向こう側左端が安倍首相 その右が麻生財務相



てきました。

質問では、いま世界的な問題になっているタックスヘイブン(租税回避地)を利用した大企業・大金持ちの課税逃れを取り上げました。とくに日本の大企業がケイマン諸島で行っている「慈善信託」という巧妙な課税逃れのしくみを暴露したときは、麻生財務大臣に「官僚の説明よりわかりやすい、大門先生は頭がいい」と褒められました。安倍首相には、これを放置して消費税増税などいともできない、中止すべきだと迫りましたが、「大事な社会保障費に課税逃れを当てにするわけにはいかない」と意味不明の答弁でした。当日夜の「報道ステーション」が私の質問をわかりやすく解説してくれたこともあり、たくさんの方から激励とお褒めの言葉を頂きました。論戦復帰を果たし、いざ選挙本番です。

とでした。お母さんには後援会ニュースを読んでいただくことになりました。選挙戦もスタートラインに立つたばかりです。
子どもたちの未来を血で汚すようなことがあってはなりません。城北後援会での熱気溢れる集まりにも元気をもらいました。勝つために必要なことは何でもやるという意気込みでみなさんといっしょにがんばります。(奥村のり子)
5日午後2時30分から市民会館大ホールで市田副委員長を迎えて演説会です。よろしく。